



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地域まちづくり**をすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを**地まぢのチカラ**で情報発信します。

2023.01.31


vol.86

## 《 イベントのお知らせ 》

地まぢNEWS

2/18  
(土)

～R4年度地まぢCampus勉強会～

地域にまこう、  
小さなタネ

本年度のまちづくりびと講座のテーマでもあった、あなたのまちの小さな魅力「小ネタ」。この講演では、地域の魅力的なストーリーを生む小ネタの重要性について「KNT（小ネタ）理論」とともに、名古屋における「KNT」の役割を考えます。

※ページ下部



※詳細・申込は、二次元コードより都市センターHPをご覧ください。両イベントとも残席僅かとなっております。

2/25  
(土)

～R4年度第3回スキルアップ講座～

まちにきく、  
その声を集める。

人々の声を集め、それをまちづくり活動の中で活かしていくためには一体どんなアプローチがあるでしょう。港まちを題材に、「まち」あるいは「まちの声」とは何か？その「きき方、集め方、そして活かし方」までを余すことなくご紹介します。



### 地域の取組み

片平学区子育て支援  
ネットワーク連絡会

### プレーパークに遊びに行こう！

1月21日（土）、緑区片平学区千句塚公園でプレーパークが開かれました。プレーパークは、子どもたちが自由な発想で作り出し、思いっきり遊べる場です。

遊び方はそれぞれ！

寒い日にも関わらず、多くの子どもたちが集まりました。置いてある道具を自由に選び、思い思いのやり方で遊び始めます。大人が正しい遊び方を教えることはありません。



焚火の準備を手伝いたい！と薪の割り方を聞きにくる子や、マッチ擦りに挑戦する子も！

マッチ擦りに挑戦！



様々な遊びが繰り広げられる傍らでは、大人たちが大きな鍋で温かい味噌汁を作ります。美味しく、楽しく、地域の温もりが子ども達に伝わるイベントになりました。

### 地まぢ チャレンジ ～32人目～

藤田聖人さんご紹介

名古屋スリバチ学会世話人

古橋 和佳さん



Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと  
A まちづくりが進むの中で、そもそもの地形を見て歩く人たちと会えること。

Q これから取組みたいと考えていること  
A まちの中の歴史的・地理的小ネタを見つけること。

Q 最後にひとこと  
A みなさん一緒に歩きましょう！

### 地まぢ団体紹介

#### 梅が丘三代を繋ぐ会

### 地域の愛情をこどもたちに

天白区梅が丘にて、地域のつながりを強め、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

今回お話を伺ったのは、メンバーの小林さん・須田さん・奥島さん。学生から高齢者まで、地域の「やってみたい」を拾い上げて応援し、自分たちは楽しませてもらっているのだとのこと。地域の学生たち発案で「ボードゲームで居場所づくり」「地域の食材で1日レストラン」など新しい取組みを色々計画されているそうです。

「地域に子ども達の居場所があり、自分たちが愛されていると感じて欲しい。その経験があれば将来の困難も乗り越えていけるはず」と語る小林さんの言葉が印象的でした。

一緒にいる人を笑顔にさせる会のみなさんの明るさが、大人から子どもまで、まち全体に広がっているのだと感じました。



みんなで造った竹灯り

名古屋スリバチ学会の世話人として、名古屋をはじめ愛知の様々な場所を実際に歩いている古橋さん。「スリバチ状の地形は少なく、「マナイタ」地形な名古屋ですが、まちを歩けば様々な魅力がある」といいます。「地形を辿ると、まちが移り変わる中で大きな歴史から零れ落ちた「まちの記憶」が見えてくる」のだそうです。また、実際にまちを歩いて見つかる「これは何？」という小ネタについてみんなで話し、それぞれの関心を共有する時間も面白いのだとか。

地形という視点からまちを歩き、その地域の魅力を見つける楽しさ・深さを教えてくださいました。まちを見る切り口や視点が増えると、まちはもっと面白くなると感じました。（松井）

